

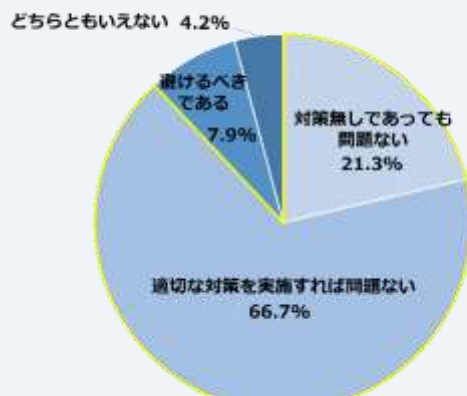
【医師 432 名にアンケートを実施】 約 4 年ぶりの“行動制限がないノーマスクの夏” 約 7 割の医師が賛成と回答 長く続いた自粛生活。体力や抵抗力の低下に注意を

医療人材総合サービスを提供する株式会社エムステージ（東京都品川区、代表取締役：杉田雄二）は、当社が運営する『Dr.転職なび』『Dr.アルなび』の登録医師のうち 432 名に“行動制限がないノーマスクの夏”について、アンケート調査を実施しました。

Q 今年は「行動制限がないノーマスクの夏」になりますが、ご自身の考えに最も近いものを教えてください。（回答数432）



Q 夏休み期間中などの旅行や帰省について、ご自身の考えに最も近いものを教えてください。（回答数432）



調査背景

2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行されました。これにより、政府から一律に日常における基本的感染対策や、感染症法に基づく新型コロナ陽性者及び濃厚接触者の外出自粛は求められなくなります。また、限られた医療機関でのみ可能であった受診が、幅広い医療機関において可能になります。（厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について」より）

約4年ぶりの“行動制限がないノーマスクの夏”を迎えることとなりますが、このことについて、現場の医師はどのように感じているのでしょうか。今年の夏だからこそ気を付けるべき疾患・症状とあわせて調査しました。

調査結果のサマリー

- ・“行動制限がないノーマスクの夏”約 7 割の医師が賛成と回答。
- ・引き続き医療機関や高齢者施設、公共交通機関ではマスク着用を。
- ・夏休み期間中などの旅行や帰省について、約 9 割の医師が問題ないと回答。
- ・長く続いた自粛生活。体力や抵抗力の低下による疾患・症状に注意を。

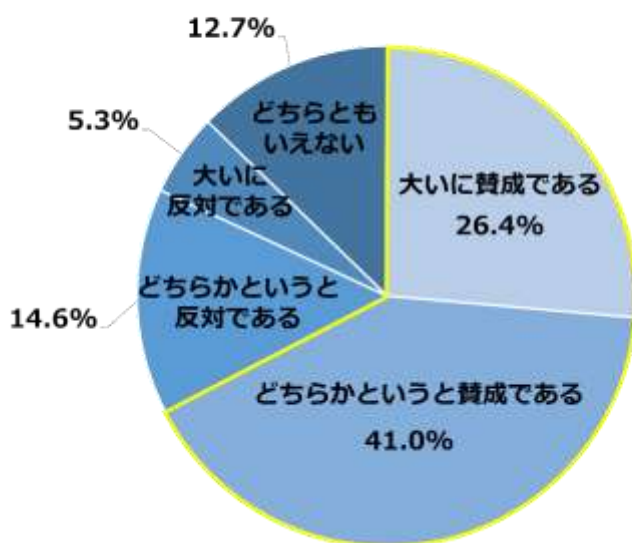
“行動制限がないノーマスクの夏”に対する医師 432 名の考え

1. “行動制限がないノーマスクの夏”約 7 割の医師が賛成と回答

「行動制限がないノーマスクの夏」に対し、26.4%の医師が「大いに賛成である」と回答。また、41.0%が「どちらかという賛成である」と回答し、約 7 割の医師が賛成する結果となりました。

賛成の理由としては、マスク着用による熱中症や脱水症を危惧する意見が多くみられ、反対の意見としては、ゴールデンウィークを経て、改めて対策をするべきという意見がみられました。

Q 今年は「行動制限がないノーマスクの夏」になりますが、ご自身の考えに最も近いものを教えてください。（回答数432）



M.STAGE

■ 「大いに賛成である」と回答した理由（フリー回答）

- ・いままでがつかかった。(60代/産婦人科/勤務医 [診療所・クリニック])
- ・もともとそれほどマスクに賛成ではない。(30代/呼吸器外科/勤務医 [大学病院])
- ・熱中症になる危険性があるため。(50代/リハビリテーション科/勤務医 [大学病院以外の病院])

■ 「どちらかという賛成である」と回答した理由（フリー回答）

- ・脱水症のリスクを考慮すると、外すことをベースにして良いと思う。
(70代以上/一般内科/勤務医 [診療所・クリニック])
- ・コロナ感染をコントロールすること自体がもはや難しそうであること。
一人ひとりにコロナに対する意識が醸成されるには十分な時間が経過しており、以降は個々の判断に委ねても良いと思われるため。(40代/一般内科/勤務医 [大学病院以外の病院])
- ・ノーマスクという言葉が先行して、それぞれの環境に合わせて着用をする事は忘れないで欲しい。
(30代/産業医)
- ・現在はコロナが流行しているという状況ではないため、熱中症対策にもマスクを外した方が良い。
(50代/整形外科/勤務医 [診療所・クリニック])

■ 「どちらかというとなら反対である」と回答した理由（フリー回答）

- ・外来にて、ゴールデンウィークから発熱患者のコロナ陽性率が急増しており、次の波が既に始まっている感覚を受けるため。（30代/リウマチ科/勤務医 [非常勤のみ]）
- ・現実問題、連休明けから患者が増加している。（60代/一般内科/勤務医 [診療所・クリニック]）
- ・マスクで予防できるのはコロナだけではないため。（50代/形成外科/勤務医 [診療所・クリニック]）
- ・換気が不十分なクーラーのきいた室内では、クラスターが起こるのでは。（40代/消化器内科/勤務医 [健診施設や老健など]）
- ・医療機関では、いまだコロナ感染の治療をされている患者さんが多いです。このようにならないよう、引き続き注意していく必要があると思います。（50代/眼科/勤務医 [大学病院]）

■ 「大いに反対である」と回答した理由（フリー回答）

- ・感染者数が明らかに増加している一方、感染症病床は減っている。（40代/救急科/フリーランス）
- ・また新しい感染症が流行した場合に、大騒ぎになることが予想されるから。標準予防策としてマスクはしたほうがいいと思う。（40代/整形外科/勤務医 [診療所・クリニック]）

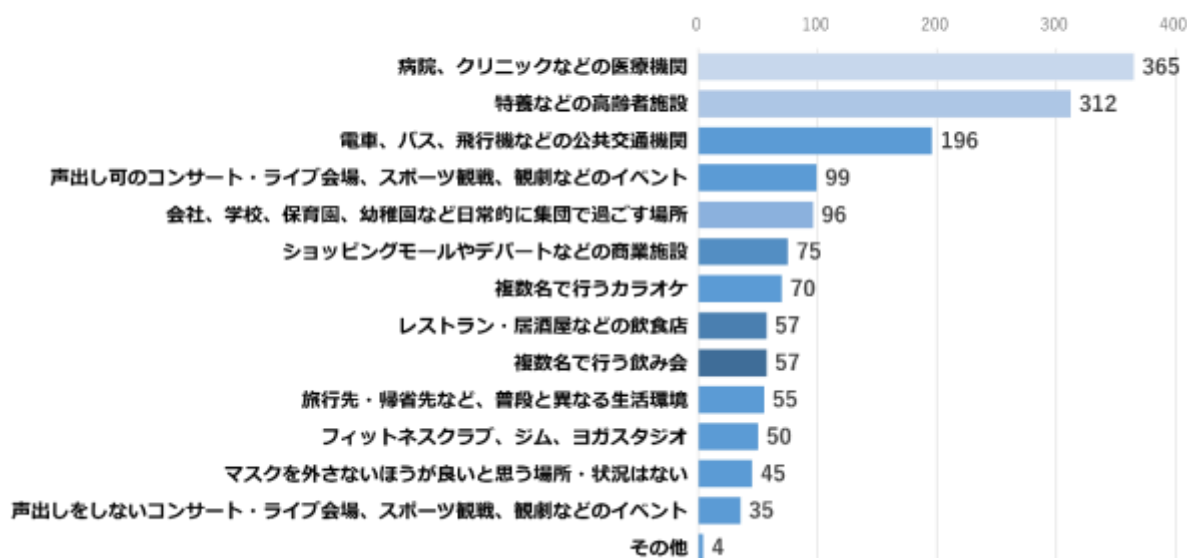
マスク着用が必要と思われるシチュエーション

2. 引き続き医療機関や高齢者施設、公共交通機関ではマスク着用を

「行動制限がないノーマスクの夏」であっても、マスクを外さない方がよいと思うシチュエーションは、「病院、クリニックなどの医療機関」（365）の回答が最も多く、「特養などの高齢者施設」（312）、「電車、バス、飛行機などの公共交通機関」（196）が続きました。

「声出し可のコンサート・ライブ会場、スポーツ観戦、観劇などのイベント」（99）や「会社、学校、保育園、幼稚園など日常的に集団で過ごす場所」（96）などをマスク着用が必要なシチュエーションとして回答する医師は3割を切る結果となりました。

Q 「行動制限がないノーマスクの夏」であっても、マスクを外さないほうが良いと思う場所・状況はありますか？（回答数432/複数回答）

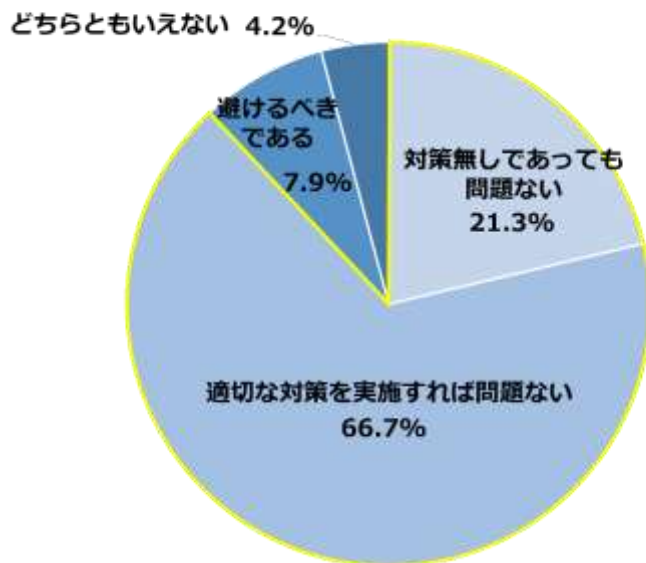


旅行や帰省に対する医師の考え

3. 夏休み期間中などの旅行や帰省について、約 9 割の医師が問題ないと回答

移動が活発になることが予想される夏休み期間中などの旅行や帰省について、「対策なしであっても問題ない」と回答した医師は 21.3%、「適切な対策を実施すれば問題ない」と回答した医師は 66.7%となり、約 9 割の医師が問題ないと回答しました。

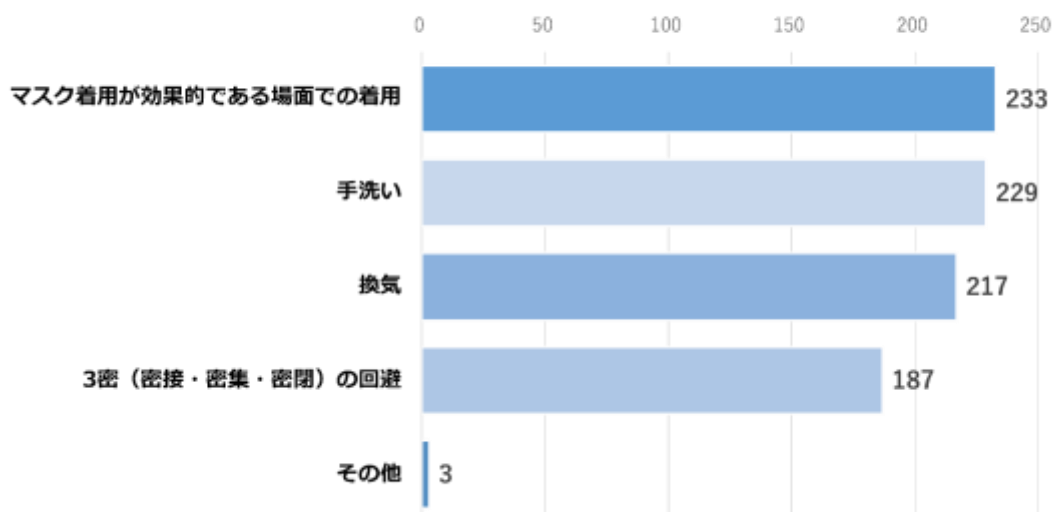
Q 夏休み期間中などの旅行や帰省について、ご自身の考えに最も近いものを教えてください。（回答数432）



M.STAGE

また、「適切な対策」としては、「マスク着用が効果的である場面でのマスク着用」(233)、「手洗い」(229)、「換気」(217) など、基本的な対策以外に「大声で話さない」(50 代/脳神経内科/勤務医 [診療所・クリニック]) や、「コロナワクチン接種」(50 代/耳鼻いんこう科/勤務医 [診療所・クリニック]) などの回答がありました。

Q 適切と考える対策について、具体的な内容を教えてください。（回答数288/複数回答）
※ 「適切な対策を実施すれば問題ない」と回答した方のみ



M.STAGE

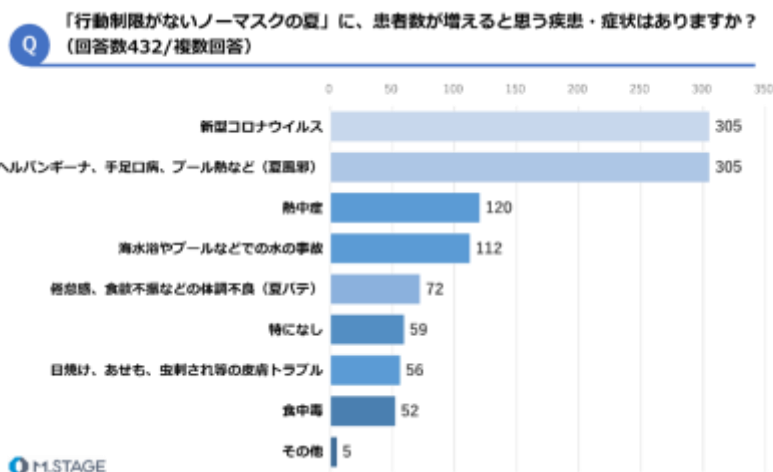
今年の夏に注意すべき疾患

4. 長く続いた自粛生活。体力や抵抗力の低下による疾患・症状に注意を

約4年ぶりに行動制限がなくなる今年の夏に、患者数が増えると思う疾患・症状について「新型コロナウイルス」(305)、「夏風邪」(305)が同数で最も多く、次いで「熱中症」(120)、「海水浴やプールなどでの水の事故」(112)、「夏バテ」(72)となりました。

その理由として、「反動ではしゃぎすぎる。自粛生活で基礎的な体力・抵抗力が落ちているだろうから。」

(60代/精神科/勤務医 [大学病院以外の病院]) 「色々な制限があった環境下で、体力や感染症に対する抵抗力が落ちてしまっていることが影響すると思う。」(60代/健診・ドック/勤務医 [健診施設や老健など]) など、長く続いた自粛生活による、体力や抵抗力の低下を懸念する回答が目立ちました。



アンケート調査概要

- ・ 行動制限がないノーマスクの夏に関するアンケート
- ・ 調査日：2023年5月9日～5月16日
- ・ 対象：『Dr.転職ナビ』『Dr.アルナビ』に登録する会員医師
- ・ 調査方法：webアンケート
- ・ 有効回答数：432

※引用・転載時には「株式会社エムステージ」と弊社クレジットを明記下さい。

医師求人サイト『Dr.転職ナビ』『Dr.アルナビ』について

3万人以上の医師が登録する、医師向け転職求人サイト、アルバイト求人サイトです。多様な働き方を推進し、医師不足・医療従事者の過重労働などの課題解決を目指しています。

医師の転職情報サイト **Dr.転職ナビ** 医師のアルバイト情報サイト **Dr.アルナビ**

『Dr.転職ナビ』：<https://tenshoku.doctor-navi.jp/> 『Dr.アルナビ』：<https://arbeit.doctor-navi.jp/sh>

★転職お役立ちコンテンツ公開中！医師へのアンケート調査を毎月実施しています。

株式会社エムステージについて

「すべては、持続可能な医療の未来をつくるために」をビジョンに、医療従事者のキャリア支援・医療機関向け採用支援と、事業場向け産業保健サービスを提供しています。



<会社概要>

商号：株式会社エムステージ

代表者：代表取締役 杉田 雄二

設立：2003年5月

所在地：〒141-6005 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower5 階

事業内容：医療人材総合サービス、事業場向け産業保健支援